



発行所 宗教新聞社
東京都新宿区新宿5-13-2
〒160-0022
電話 03-3353-2940(代)
FAX 03-3363-5182
郵便振替口座 00130-9-22704
URL http://www.religion-news.net
©宗教新聞社 2023

購読料(税込)
1部 500円
半年 3,000円(〒共)
年間 6,000円(〒共)



加へ心

(社は)
一、精神革命の旗手
一、宗教連合の具現
一、地上天国の建設

新年のご挨拶

本紙代表 石丸志信

令和5年 癸卯の年を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。
昨年中は格別のご高配を賜り、心より御礼申し上げます。
「戦」の一字に象徴される一年が幕を閉じ、新たな年の幕が開けました。年頭に当たり、国と世界の行く末を見つめながら皆様は、どのような祈りを捧げられたでしょうか。

古代イスラエルの知恵を記した書にはこうあります。「幻がなければ民は墮落する。教を守りたがる者は幸いである」(箴言29・18)。「幻」は幻影や妄想ではなく「ビジョン」。国家にとって明確なビジョンがなければ国民は方向性を見失い、社会が混乱することを戒めています。国家のみならず、個人や家庭、地域共同体においても同様です。

宗教伝統が示す人生観や世界観、歴史観こそが「こころ」のビジョンではないでしょうか。親から子へ孫へと綿々と受け継がれた信仰の伝統は、人々を幸福な人生に導くだけでなく、共同体の成長と国家の繁栄をもたらすビジョンとも言えます。共通のビジョンを共有する信仰共同体は今や国境を越えて世界に広がっています。

1979年に松下正寿元立教大学総長を社主に迎え創刊した弊紙は、来るべき宗教連合時代の到来を予見し、宗派教派を超えた総合的な視点で宗教の相互協力と霊性の興隆に資する情報発信を行ってきました。国内外の人々が平和と幸福を享受するためには、宗教の一致協力が何よりも重要だと受け止めてきたからです。そのために、各々の伝統を尊重することから始め、各宗教の相違点よりも共通点に目を向けてきました。宗教間の対話促進、相互理解を願い、スキャンダルを暴くことや他の伝統を軽視し非難する姿勢を取らないよう努めてきました。

パレスチナ人医師アブエライシ氏は、イスラエルの空爆で自宅を破壊され娘を失いました。悲しみのどん底の中で叫ぶ心の声は「それでも、私は憎まない」でした。いつか娘と再会するときに喜んでくれる人生を生きようと慈善活動を始めたのです。イスラームの信仰を持つ医師は言いました。「恨み憎しみの言葉は毒だ。病気の治療と健康回復を使命とする医師が人々に毒を盛りたくはない」。彼のことばがよみがえる一年の始まりです。キング牧師もこう言いました。

「憎しみに対して憎しみを返せば、憎しみが増し、すでに星の消えた夜にさらに深い闇を加えることになる。闇が闇を追い払うことはできず、それができるのは光だけだ。憎しみが憎しみを追い払うことはできず、それができるのは愛だけなのだ」。
暗闇の中で恐れ惑う人々に、愛と慈しみの灯火を灯し光の輪を広げてこの世を明るく照らしていきたいものです。ひとりひとりの尊厳が守られ、誰もが自由と幸福と平和を享受できる世界になるまで。

「癸卯」は、つばみが彫らみ春の訪れを知らせるように、閉ざされていた門が開き、鳥たちが自由の天地に羽ばたいていく様子を表すとも言われます。ユダヤの歌人が詠んだ歌の一節です。「ほら、冬は去り、雨季は過ぎ行きました。花々が地に現れ、さえずりの季節がやって来ました。山鳩の声が私たちの地に聞こえます。いちじくの実が熟し、ぶどうの花は香りを放ちます。恋人よ、立ち上がって来なさい。美しい人よ、さあ来なさい」(雅歌2・11-13)。

愛の歌に託した喜びの訪れ。悠久の歴史の流れの中で世の人々が等しく尊厳を保ちながら、そのような時を迎えることができるようにと願う一年の初めです。皆様のご多幸を祈りつつ挨拶に代えさせていただきます。

新年の挨拶



書・繁本香菜氏
(東洋書画芸術研究院常任顧問)

石清水八幡宮
宮司 田中恆清
〒614-8388 京都府八幡市八幡高坊2-10
電話 〇七五(九八)二〇〇〇一

生田神社
名誉宮司 加藤隆久
宮司 日置春文
神戸市中央区下山手通二丁目二番一号
電話 〇七八(三三)三三八五

神道禊教
教主 坂田安弘

天台宗別格本山
西国第二十七番札所
書寫山圓教寺

一燈園当番
(公益財)世界宗教者平和会議顧問
(株)サンメッセ日南会長
西田多戈止
〒607-8025 京都府山科区西宮御山町八
電話 〇七五(五八)二二二六

宗教法人 庚申会
龍神総宮社
代表役員 辻本公俊
〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄広岡谷二
電話 〇七七四(三二)八八八八

教 黒住教
本部 〒701-1212 岡山県北区尾上神道山

一社一宮 寒川神社
宮司 利根康教
〒253-0195 神奈川県高津区寒川町宮山三九一六
電話 〇四六(七五)〇〇〇四

千束八幡神社
(洗足池八幡宮)
宮司 惠良彰紀
禰宣 惠良信親
電話 〇三三七(七七)七五八四

大宮八幡宮
宮司 鎌田紀彦
〒108-8570 東京都杉並区大宮一三一

稲毛神社
宮司 市川和裕
〒210-0004 神奈川県川崎市稲毛町七七七
電話 〇四四(二二)四五五四

守る不動尊
住職 大場隆督
川崎市高津区

常陸國 昭岩天満宮
齋主 神永義彦

伊勢山皇大神宮
宮司 阿久津裕司
〒220-0031 神奈川県横浜市西区宮崎町六四
電話 〇四五(二四)一一二二

師岡熊野神社
宮司 石川正人
〒222-0002 横浜市港北区師岡町一三三

全国浅間神社総本宮
富士山 浅間大社
本宮 宮司 甲田吉孝
〒400-0001 静岡県富士宮市宮町一
電話 〇五五(四四)二七三〇
FAX 〇五五(四四)二七三六